

災害が都市圏通勤量に及ぼす影響の定量的把握

奥村 誠

東北大学災害科学国際研究所
mokmr@tohoku.ac.jp

澤村悠里（東北大学大学院）

災害への対応や対策を考える上で、災害による社会経済的な影響の定量的把握は重要な課題である。本報告は、都市部での経済活動が郊外部からの通勤によって支えられていることに着目し、数時間遅れのリアルタイムで取得可能な **Docomo** モバイル空間統計データを用いて、災害時の通勤量の推移を定量的に把握するための標準的な計算方法を提案する。提案手法は、(1) 居住市区町村別ではあるものの、メッシュ別時点ごとの存在人数を集計したデータから、通勤流動の人数や総移動距離を推定すること、(2) 莫大なサイズのメッシュ単位のデータを小さいサイズに集約すること、を推定結果の精度を落とさずに実現することに注意して開発している。

キーワード：モバイル空間統計,通勤,経済損失,ビッグデータ